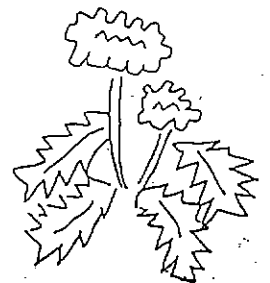


NO 1 6 2
 H12年12月1日
 一 発 行 一
 〒869-1217
 熊本県菊池郡
 大津町森54-2
 社会福祉法人
 三気の会
 三気の里
 ☎096-293-8100



おしまコロナー

園長 松田 健

十月十二日〜十三日に第十四回
 全国自閉症者施設連絡協議会大
 分大会が実施されました。めぶき
 園の五十嵐園長が中心となって会
 の運営を行われました。ご苦勞様
 でした。

私は、おしまコロナー屋ヶ丘寮
 施設長 寺尾 孝士氏の「自閉症の
 人たちに對する支援、援助」
 (TEACCHプログラムのアイ
 デアを応用して)と題した実践
 講座①に参加しました。今回は、
 概要だけとなりますがその報告を
 します。

おしまコロナーは、六十人中五
 十九人が自閉症者で、そのほとん
 どが重度者であり、平均年齢も二
 十八歳と若く、三気の里と似てい
 ると思えました。話によると、不
 適応行動を抱えている人が多く、
 自傷による失明や他傷による利用

者や職員の怪我が絶えず、何人か
 の職員がそのために辞めていった
 ということでした。

TEACCHプログラムを導入
 してから、多くの点が改善され、
 利用者の生活も安定したことによ
 り、今までの指導を反省したと言
 われました。何も情報を与えず、
 利用者が何も分からない状態の中
 で、指示通りに動かないことに腹
 を立て、厳しく叱責していた、す
 べての失敗や不適応行動やパニッ
 クを利用者のせいにしていた、そ
 れらは、間違いであったというこ
 とがわかったと話されました。き
 ちんと今日 今から何をやるのか
 ということを各人が分かるような
 方法を用いて伝えることから出発
 することによって、混乱が生じな
 くなったと言われていました。

おしまコロナーは、就労に対す
 る取り組みにも力を入れており、
 二十数名は、実習班として六つの

実習先で食器洗い、清掃、培地整
 理等の作業を行っています。実習
 している人は重度者だけです、
 ジョブコーチが「一人ひとりの機
 能レベルに合わせた工夫」をして、
 徐々に上達へと導いていました。

トップダウンの発想をもって何事
 にもチャレンジしているとのこと
 でした。
 三気の里でも思っていること
 ですが、手かせ足かせとなるもの
 が多くなかなか進展しません。コ
 ンセンサスを得ながら少しずつ進
 めていけたならと思っています。
 最後に、寺尾先生の言葉の中で
 印象に残ったものを二つ挙げ、報
 告を終わらせていただきます。
 「不適応行動だけに目を向けが
 ちであるが、彼らの強い部分に目
 を向ける必要がある。」

「おしまコロナーを自閉症者の
 墓場にしたいくないの思いから頑
 張っている。」

追記 第四分科会は、三気の里
 が担当し、本施設の大賀指導員が
 事例報告をしました。コメント
 ターを「かくたつグループ」の
 片倉 信夫先生にお願いしました。
 スケジュールを変更して、参加し
 ていただきました。紙面をお借り
 して感謝申し上げます。(その御恩に
 ちた、有て森の葉をの葉をまよ)

秋の収穫祭
 石丸直美



十一月五日(日) 大津温泉岩戸
 の里で収穫祭が行われ、園芸班、
 木工班が製品を出展させていた
 きました。花苗、木工製品は、初
 めての催しで客足が少なかつたこ
 ともあり売れ行きは良くありませ
 んでした。そんな中、売り子とし
 て同行してくれた由美さんが、製
 品を手に取りやすいように並べて
 くれたり、製品を手取るお客さ
 んに「私が作ったよ」「麻衣ちゃ
 んが作ってるよ」と作業の様子を
 説明しながら、製品を薦めてくれ
 ますので、買われるお客さんもあ
 り、由美さんの意外な特技を見た
 一日でした。

★ ハンパニョース ONE ★

3班・お菓子で大満足！

寒い冬がやってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか？

去る11月21日（火）に、3班木工班はセキアヒルズに出掛けました。バスから降りると、冷たい風が頬をさし、とても寒かったのですが、セキアヒルズ内にある『てっぺん食堂』で、それぞれ自分で選んだ日替わり定食やうどん定食を食べ、体を温め昼食を済ませました。その後は買い物です。みんな何をかうのかと思えばお菓子。みんなの大好きなお菓子やジュースを、買うことができました。また、ゲームセンターでプリクラを撮ったり、本屋で本を見たりしました。

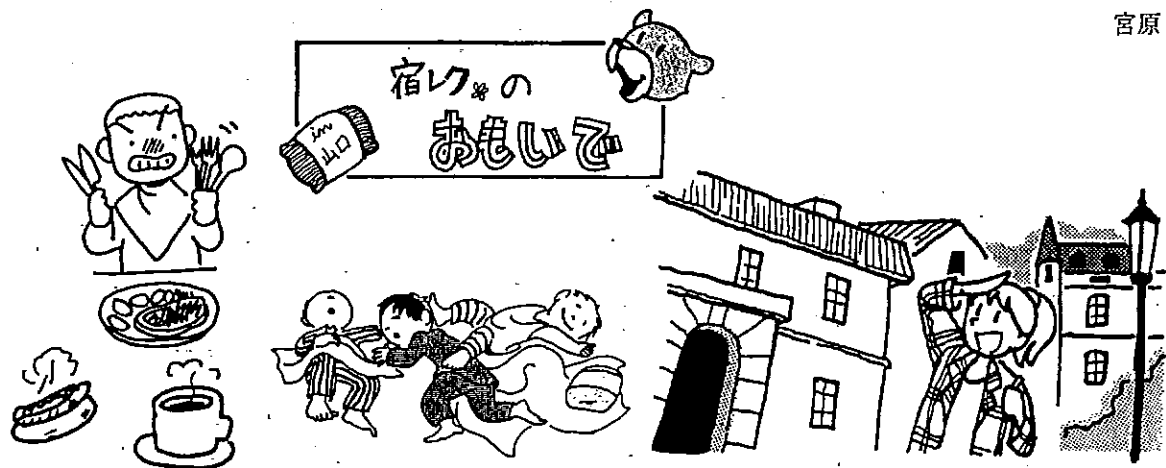
たくさんお菓子食べて夕食は大丈夫かな？とちょっと心配でしたが、みんなの大満足の顔を見ると「たまには、まーいいか…」と職員も思う1日でした。

秦

4班・秋芳どう？

辺りの山々も、彩りはじめた季節となりましたが、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。4班破、去る11月15日～17日に、宿泊レクリエーションに出掛けています。場所は、1日目、山口県萩市、2日目、福岡県スペースワールド、3日目大分県日田市、サッポロビール工場です。それぞれ、違う雰囲気だった為、皆の表情の変化が様々出た。特に、皆の内面が見れた場所が、山口県の秋芳洞だっと思ひます。始めは初日ということで、皆元気に昼食を取っていましたが、いざ洞窟に入るとなると、何が有るか分からずごく不安そうにしている人。怖くて職員の手をしっかりと握っている人。暗さが楽しくて、大声を出している人。又その響きを楽しんでいる人。さまざまな表情がありました。日頃、なかなか体験する事の出来ない環境での、皆の様子…楽しんでいたのは、職員だけだったのでは…。でも、ホテルで一番幸せそうな顔をしていたのは、やっぱり皆の方でした。沢山のごちそうに、大きなお風呂！お風呂は、大浴場をほぼ貸し切り状態でした。一泊目は、外に広い海が見え、二泊目は、綺麗な庭園と心身ともにリラックス出来るような、おしゃれなお風呂で大満足だったようです。そして、待ってました！夕食の時間です。十品以上の料理に甘いあんずの食前酒、皆は料理が出揃う前に、ほとんど食べていました。それに、ご飯のお代わり自由だったため、大々満足！！誰かがこんな事を「毎日、こんなごちそうなら良いのに…」私も同感ですが、「毎日食べたら太っちゃうよ。」と話していました。案の定、私を含め、皆レクリエーション前より帰園時は体重が増えていたのでは…。…う～ん。年に一度だし…良いです！又、農耕作業で皆ダイエットしようね。

宮原





班ニュース 2



1班・疲れを癒しに

日々の室内作業での疲れを癒しに、去る11月7日に1班は阿蘇郡高森町の月廻り温泉に行ってきました。それでは、ぼかぼか☺、バタバタの温泉での様子をお伝えします。浴槽の中ではご機嫌で阿蘇の山々に響き渡る歌声を披露している麻衣ちゃん、脱衣場ではドライヤーを使い、しなやかな手つきで髪を乾かす佳子さん。女性人が優雅に温泉を満喫している中、男性人にハプニング発生。「あれっ、まーくんのジーパンがないよ」脱衣場で慌てる男性職員の声が聞こえます。考えてみれば数分前、お風呂から出て私の前を通過して行った功一くんのジーパンがやけに短かったような…。慌てて2人のズボンを交換しましたが、数分後何事もなかったかのようなスッパリ顔でお風呂から出てきたまーくんとは対称的に、疲れきった高田指導員と阿南指導員の姿に申し訳なく思う私でした。 平山

6班・ショッピング・ショッピング

11月15日、やっぱり天気は雨…。せっかくのレクリエーションの日、なぜだか雨に見舞われがちな6班。でも、今日みんなの表情はいつも以上に嗜れやか、なんとってショッピングだもの、ウキウキせずにはいられませんよね。出掛けた先は熊本岩田屋・交通センター。辛島公園地下駐車場に車を止め、通路の階段を上るとパッと明るいショッピング街。みんなの表情もますます明るく、どっちへ行こうかキョロキョロしながら考えているのが分かります。まずは昼食で一息入れてから、思い思いに買い物をしました。宏幸さんと美緒さんは本にノート、あっこさんとただちゃんはおもちゃ、ゆかりさんはマニキュア、あやちゃんと民さんは折り紙、行夫さんは靴下、そして幸男さんと正利さんはなんと鶴屋まで足を延ばし、大道産子市を見て「午後2時5分一寸一服」の公開放送に参加して、電池、本、フィルムを買ってと大忙しのショッピングでした。 大賀

5班・園芸班一大イベント終了

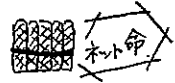
朝あと5分だけ…と、布団の中で起きるのがすっかり苦手となった季節がやってきました。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

さて、11月と言えどもまだ薄手の長袖シャツ1枚でよかったとある日、園芸班一同1年のメインイベントである宿泊レクリエーションへ出発しました。行き先はなんと鹿児島！なんて鹿児島かというのと、決して職員の個人的な趣味では…いいえ、決して趣味だけではありません。今回は正真正銘園芸班全員でというか、みんなから「鹿児島！温泉！水族館！」という声があがったからです。すごいでしょう！本当のことを言えば決め手は旅行雑誌ですかねー、本の初めのページは当然のことながら名物食べ物でいっぱい、だからでしょうか？

ではここで旅行の思い出ランキング！3位：コアラとくらげ、2位：駄菓子屋とかるかん工場見学、1位：温泉、ホテル。このランキングさえ見れば旅行中の様子は十分に？伝わったと思うので、詳しい内容についてはあえて控えさせていただきます…。どうしても聞きたい方は園芸班のメンバーに直接聞いてみて下さい。

追伸：指宿に泊まり砂蒸し風呂には誰一人として入らなかった園芸班メンバーの中には、さらに霧島の有名な乳白色温泉を、バスクリンみたいで気持ち悪いと言って大浴場まで行ったのに、シャワーだけで済ませた人もいたとか…。 佐藤

班にゆ〜すⅢ



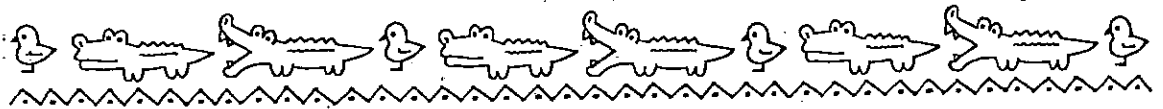
2班・散歩の効果！

間もなく12月というのに異常気象と思われるくらいの暖かさに戸惑いを感じる今日この頃ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、今年度に入り、2班では週に1度散歩を行っています。いつも屋内で作業を行っているせいか日に日に体力が落ちているのが現実です。そこで散歩を行うことにより体力の強化、集団活動ができることを目的として頑張ってきています。散歩を始めた頃は、みんなのペースが合わず、立ち止まったりすることが多く、傍から見ると2〜3グループに分かれて活動していたようですが、現在は1つのグループとして活動できるようになってきていますし、歩く距離、ペースともよくなってきています。また散歩の効果が一人一人現れていて歩くペースが速くなってきた人、他人のペースに合わせて歩くことができるようになってきた人、体力がついてきた人、笑顔が増えた人、体重が軽減した人など様々です。それに何より四季を肌で感じれることは大きな収穫で2班みんな心豊かになった気がします。これから寒くなりますが風邪をひかないようにして頑張っていきたいと思っています。

P.S散歩以上に頑張っているのがネット作業だということは忘れないでください。我々は散歩班ではなく、ネット班です。

植本



食卓当番中

お昼にしか会えない顔ぶれ。それは通所部の3名です。食事を取る皆の列に混じってニコニコしながら「こんにちは。」を言っているのが坂田くん。最初の頃より上手にお盆にお皿をのせていけるようになりました。

また、こちらから話しかけてもスリッと通り抜けて行くボーカークフェイスの長谷河くん。お茶のおかわりをしに来てもその顔をくずしません。

そして、一番小柄な赤星くん。私のことが怖いのか、おどおどしていた彼もようやく慣れて、「ください。」などと笑顔で言ってくるようになりまし。しかし、そんな彼もご機嫌ななめ時は、おやつをもらって、どうしても「ありがとう。」が言いたくなくて、「よしよし。」と意味不明な言葉を残し、ピュッと走り去って行きます。

色々あげればきりのない彼らのエピソード。こんな彼らに毎日会うのが待ち遠しい私たちです。

前田

作品展示会

保護者 井手上 昌子

11月3日、4日の両日農業公園での作品展示会に、三気の里の保護者も初めて出店しました。

販売したのはおはぎとせんざいです。当日は天気にも恵まれ、朝早くからおはぎを作ってくる人、せんざいを煮てくる人。それぞれ持ち寄り10時の開店に備えました。

おはぎが11時半、せんざいも12時半には売り切れました。二日目も初日が早く売り切れましたので多めに作ってきたせんざいも1時半には売り切れてしまいました。三気の子供達が来て食べるせんざいは残しておきましたが、園生もかわりをして食べる子もいたくらいでした。二日間お手伝いをして下さった人達ともゆっくりいろんな話ができました。又来年はどんな物を出したらいいか等の話も出たりして、和気あいあいの楽しい二日間でした。今回いろんな面で参加協力して下さいました保護者の方々、どうもありがとうございました。



Mさんへの取り組み

八木 良江

新しい事を取り組むとき、職員はどのように最初取り入れて見ようか、どのようにしたら本人が混乱しないだろうかなど色々考えます。ケース会議を開いたりベテラン職員に何度も何度も聞いたり、試行錯誤しながら挑戦して見るのですが結果は善し悪し。何の躊躇も抵抗も無く入り込んでくれたらラッキー万々歳、しかし世の中そうは甘くないと言う言葉が当てはまるのがこの人たちの世界ではないかなと思うときがあります。

今年度ミレニアムなこの年に新しいことをMさんに取り組んで見ました。作業が今までとは違う内容になり、導入時は何も取り入れることも無く、とりあえず本人に今度の作業はこの時間からこのような作業に変わります。Mさんの作業は仕分けです、と話をして説明をしてみました。時間の変更、作業内容の変更等が苦手のはずという先入観が頭にあり、さあどのように指導していこうかと思ひ、

まずは仕分け作業を細分化（洗濯物をカートから取る↓名前を見る↓カゴを探す（名前をマッチングする）↓カゴに洗濯物をいれる）し、1つ1つ過程を提示していか

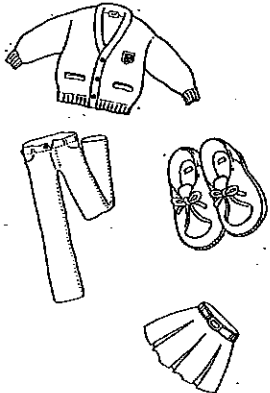
なければと思ったが、何の指示も出さなかったのにもかかわらずMさんは周りの状況や他の人がしている一連の行動を見て察したのか、カゴが見つからないときだけ「どこ？」と聞くだけで何のこだわりも不適応行動も見せず、仕分け作業を難無くこなし思わず拍子抜けしてしまいました。次に取り組もうとしたのがトイレ掃除の時間です。Mさんは居室廊下掃除は放送が無いと掃除に取り掛かりません。時間は9時15分からと決まっています。そのためその後のトイレ掃除の取り掛かりが遅くなりどうしても作業に来る時間が大幅に送れてしまいます。（Mさんなりのベースがある為）そこでトイレ掃除のときは9時から居室廊下掃除を始めようと言ったところ、大きな声でどなり叫び耳ふさぎをして、居室をドタバタ寝転び回り激しく抵抗、挙句の果てには嫌いとまで言われてしまった。Mさんにとってはこの9時15分から掃除という

のはどうしても動かしがたいものだったのでしよう。いつもとは違う日課（9時から居室廊下掃除）を「その時当番の週だけ」と限定して提示するとその場では納得していた。トイレ掃除の週を教えて「約束したよね」と何度も確認。

やっぱり時間の変更はむずかしいのではと思い、半ばあきらめて他の指導で考えながらその週を向かえると誰にも言われず放送も無いのに9時になると居室の掃除を始めていました。これには職員一同本当にびっくりさせられたのと同じに私の考えていた指導法はまたしても消し去られたのです。現在は現在2階の女子棟では、歯磨きのときにカード（歯を磨く順番を書いたカード10枚）を用いての歯磨き指導が行われています。Mさんもこのカードでの指導を取り入れてます。1日目に仕方を教えるのと次の日にはカードを捲って全部終わると仕上げ磨きの行程もすぐに受け入れて難無くしています。Mさんはもともと時間のこだわり、自分のベースのこだわりがあり、なかなかこのこだわりの変更が効きません。しかし、この三つに

てくれています。取り組みらしい取り組みはしていませんが、思うに、事前の説明やカードの提示がMさんにとって理解しやすく、始まりと終わりが明確で（仕分け↓カートが空になると終わり、トイレ↓1週間で終わり、歯磨き↓カードを捲って終わり）提示したことが受け入れやすかったのではないかと思います。

彼女の持っている世界は彼女にとっては最高で幸せで居心地の良い世界です。新しい取り組みの為にその世界に私達がお邪魔しなければなりません。邪魔と思われなように自然に入り込み、新しいことにチャレンジし彼女の世界を広げていく手伝いが出来ればと思います。これが吉と出るか凶と出るかは分かりません。その取り組みが質より量かもしれませんし、量より質かもしれません。「世の中そうは甘くない」その時はまた新しい取り組みを考えます。



大石 由紀

去る11月11日、横浜市で行われましたジョブコーチ養成セミナーに参加させて頂きました。

さて、皆さんはジョブコーチをご存じでしょうか？ジョブコーチとは、1988年にアメリカでリハビリテーション法改正により制度化された就労支援制度で、援助付き雇用の事を言います。これまでの就労といえば「訓練をしてから送り出そう」という考え方だったため実際に社会で働ける人は限られていましたが、この制度により「送り出した場所で訓練をしよう」といった発想の転換が図られ、これまで難しいと言われていた重度障害者のための就労支援システムが確立されたのです。

現在、三気の里では就労している人は一人もおらず、皆園内の作業班での作業を行っています。これまでの10年は試行錯誤・無我夢中で利用者の生活支援が行われてきました。諸先輩方が築いた礎に我々がどう積み上げていくべきか、これからの施設の在り方を改めて考えなければいけない今、このシ

ステムは三気の里に新しい風を吹き込んでくれそうな気がします。それを実現していくのは、今その中心に置かれている我々だと思えます。単に一般雇用ができなければ作業所や福祉施設といった施設職員の考えは改め、一人一人のニーズに合った就労システムの構築を図っていけるような施設に、そして熊本の福祉社会が本当に障害者の為のものとなるよう、動くべき時がきているような氣に駆られた意義のある研修となりました。10年後の三気の里、楽しみにして頂きたいと思えます。

熊本県知的障害者施設
作品展示即売会の報告
平山 聡子



去る十一月三日(金)四日(土)に作品展示会が行われ、三気の里も参加させて頂きました。両日ともに、少し汗ばむくらいの秋晴れの天候に恵まれ、入場者数も多かったことから会場には活気が溢れ、どのテントからも販売者の威勢の良い声が響き渡っていました。一日目は職員のみ参加

だった為か、三気の里のテントにはどこか寂しい空気が漂っていたように感じましたが、二日目になると、利用者の方にも販売に参加してもらったお陰で、三気の里のテントにも明るさと活気が生まれ、日々の作業で皆が頑張っ作りに上げてきた作品を沢山のお客様に買っていただくことができました。最後になりましたが、ボランティアで参加していただいた保護者の方々に感謝申し上げます。有り難うございました。

後援会ありがとう



- 一法師聖子・吉田 貞子
- 木本 博明・北島 和子
- 島津 真一・吉岡 誠治
- 伏貫 直美・溝原 一清
- 兼坂 一子・堤 裕子
- 吉竹みさ子・吉田 和湖
- 田中 慶芳・林 千沙子
- 百崎 末雄・坂口 寛治
- 宇和田幸子
- 小篠 武明 (株)レミゼス
- 木村 晴世 木村皮膚科医院

後援会募集のご案内



三気の里では、後援会を募集しています。御入会頂いた方には、毎月発行している機関紙「たんぼ」をお送り致します。

振振りい込み先

口座番号

0197018114902

社会福祉法人 三気の会后援会

保護者会代表 魚谷 秀文 宛

住所

熊本県菊池郡大津町森54-12

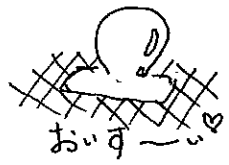
一口 3千円

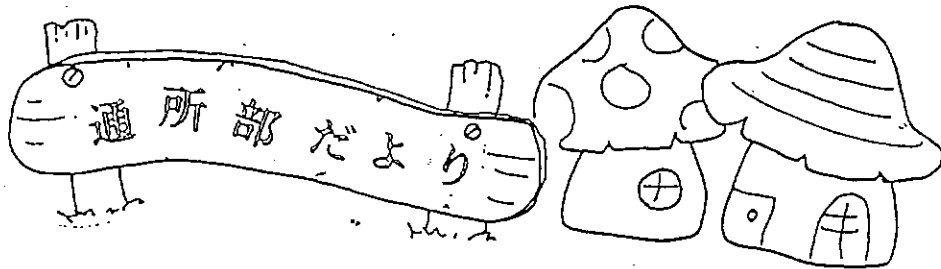
団体は、一万円より

お願い



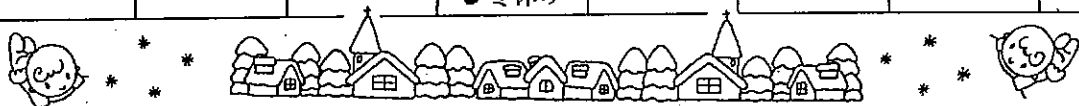
12月9日に餅つきを行う予定です。その際、使用する石臼の寄付を募っています。ご家庭で使わなくなった石臼がありましたら三気の里にご連絡下さい(取りに伺います)お待ちしております。





12月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日	備考
				1	2	3	
					◎休み	◎休み	
4	5	6	7	8	9 黄隠絵 おもちつき大会	10	
					◎休み	◎休み	
11	12	13	14	15	16	17	
◎振り替え休日					◎休み	◎休み	
18	19	20	21	22	23	24	
				◎クリスマス会	◎休み	◎休み	
25	26	27	28	29	30	31	
			◎冬休み				



通所部通信

皆で楽しみにしていた旅行なのに何故?なんで雨が降るの!まるで嵐のような雨風で朝早く目覚め

12月2日。"どして?やっぱり私は雨女?"なんて考えながら雨の降る中へ出発する頃には小降りになっていました)、一泊二日の日程で長崎県島原市と雲仙に行ってきた。メンバーは、享ちゃん・貴くん・宣くん、保護者の坂田さん・赤星さん、職員は砂野・西山・岩下の計八名、賑やかに出発です。熊本新港から島原外港までは、周りを見たり、テレビを見たり、話はずんだりそれぞれがフェリーの旅を楽しみました。島原市に着くと天気は晴れ。(神様も見方してくれたのでしょうか、2日間ともポカポカ陽気でした)昼食に島原名物の具雑煮を皆ペロりと食べた後は島原市の散策。しまばら水屋敷で沢山の招き猫を見て、アーケードを歩き、ねはん像をばら湧水館に入り、疲れた様子も見せず約3時間散策をしました。

宿泊先はとてもお洒落な雲仙観光ホテル。部屋でのんびりくつろいだり、話をしたり、温泉に入ったり、ゆっくりとした時間が流れました。

皆の様子は、夕食の洋食コース料理でナイフとフォークを上手に使った宣くんは、2日目の中華料理もお腹いっぱい食べました。翌日の朝食を沢山食べた貴くんは、中華料理も食べ、お母さんと一緒に嬉しそうでした。朝6時に起きて温泉に入った享ちゃん。大好きな砂野さんと一緒に部屋で大喜びの享ちゃんは、「ウロウロしたら旅行行かれんもんね」と言ってお早寝早起きしていた程今回の旅行を楽しみにしていました。あっと言う間に終わった旅行、「来年はどこに行こうか、食事は和食がいいね。来年は人数増えてるかな。」と、もう来年の旅行の話が出ていた長崎の旅でした。 岩下 宜くん紹介

入所施設を退所して、十一月から通って来ています。テキパキと動き回る働き者です。目がキラキラと輝いている二十四歳です。よろしくお願います。

12月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日	備考
				1	2	3	
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30	31	



からいもフェスティバル
 出牛 留美子
 去る11月12日(日)、第14回からいもフェスティバルが日SR九州(ホンダ技研グラウンド)にて開催されました。今回は、「ほおぼって思い出・ほって重いで」というテーマでした。



☆作業ボランティア 麻生 扶美
 ☆散髪 坂本理容
 ☆生け花 西村栄子
 ☆散髪 東内
 ☆作業ボランティア 麻生 扶美
 ※敬称略

皆様のお待ちしております。
 今年度も残すところ1カ月となりました。三気の里ではこの月になると、餅つき大会、クリスマス会と行事で大賑わいです。師走とだけあって園内をバタバタ走り回っているのですが、この楽しい行事に参加したいなあと思われる方を募集しています。皆さんも忙しいとは思いますが、是非参加してみませんか？

ボラソントイア通信

前々からこの日の為に、準備して頂いた保護者の方々、当日には寒い中お手伝いをして頂きました。この場をお借りしてお礼を述べたいと思います。ありがとうございます。

気がなる売れ行きですが、農耕班の唐芋・ホウレン草は完売し、園芸班の花苗は半分以上売れ、木工班のハンガー・コースターは「かわいい」といって買って下さる方がいました。

当日はとても寒かった為、温かい飲食店には長い列がで、唐芋の汁や唐芋あんのたいやきはとても温かくて、販売役で参加してくれた利用者、皆喜んで食べていました。

三気の里からは、農耕班の唐芋・ホウレン草・りり子さんが作ったぬいぐるみ。園芸班の花苗、木工班のコースター・ハンガー・タオル掛け・魚の押しピンといった豪華な品揃えとなりました。

今年もあと少し、皆様20世紀に思い残すことはありませんか？私の思い残すこと：それは⑤ 江藤